

伏見力で考えよう！！

『我らが新伏見区総合庁舎』ワークショップ通信

第4号 平成17年2月15日発行

全プログラムが終了

～2月6日(日)第4回ワークショップ「提案書をつくらう！」が開催されました～

第4回ワークショップの目標

1. これまで実施してきた3回のワークショップで話し合った内容を踏まえ、事務局がまとめた「我々が考える望ましい伏見区総合庁舎提案書(案)」について検討し、伏見区長に提出する提案書として取りまとめていきます。
2. ワークショップの仕方、進め方を学びます。

プログラム

1. 開会挨拶、事務局・コーディネーターの紹介
2. 青少年活動センターの提案書の説明、第3回ワークショップの振り返り及び「我々が考える望ましい伏見区総合庁舎提案書(案)」の紹介
3. 自己紹介
4. グループディスカッション
5. グループ発表、講評
6. 閉会挨拶

ワークショップの取り組み経過

第1回 「ワークショップ立ち上げ・伏見らしさってなんだろう？」
平成16年11月27日(土) 参加者：45名
伏見区のいいところ、悪いところ、好きなところ、嫌いなところなど「伏見」への思いを共有しました。

第2回 「今の区役所ここがよい・ここが気になる」
平成16年12月12日(日) 参加者：31名
今の「区役所」「福祉事務所」「保健所」「青少年活動センター」を視察し、「よいところ」や「気になるところ」を見つけ、共有しました。

第3回 「我々が考える望ましい伏見区総合庁舎」
平成17年1月15日(土) 参加者：49名
これまで実施してきたワークショップの成果を踏まえ、我々が考える「望ましい伏見区総合庁舎」のあり方について考えました。

ワークショップ成果の取りまとめ(事務局作業)

第4回 「提案書をつくらう！」
平成17年2月6日(日)

第4回ワークショップの概要



- 第4回ワークショップは、2月6日(日)午後2時から伏見区役所において57名(市民51名、テーブルコーディネーター6名)の参加を得て実施。また、障害のある方も多く参加され、5名が要約筆記などのボランティアとして参加いただきました。
- 青少年活動センターの提案書の発表後、コーディネーターの谷口知弘先生から、第3回ワークショップの振り返り、事務局がまとめた「我々が考える望ましい伏見区総合庁舎提案書(案)」の紹介がありました。
- ディスカッションでは、「提案書(案)」で示された5つのコンセプトごとにグループを編成し、「提案書(案)」が、これまでの意見を十分に反映しているかをチェックするとともに、テーマごとに具体的、実現可能な提案としていくための議論を行いました。

事務局の提案書(案)

伏見区総合庁舎のあり方

新しい総合庁舎は、私たち市民にとって利便性が高く、かつ時代にふさわしい施設とすることが不可欠です。また、単なる行政サービスの提供の場としてだけでなく、私たち市民の活動を支援する場となることを強く望みます。

<コンセプト>

- 市民活動の支援
- 未来への活力
- 集い・交流・活動
- 安心・やさしさ
- 環境への配慮

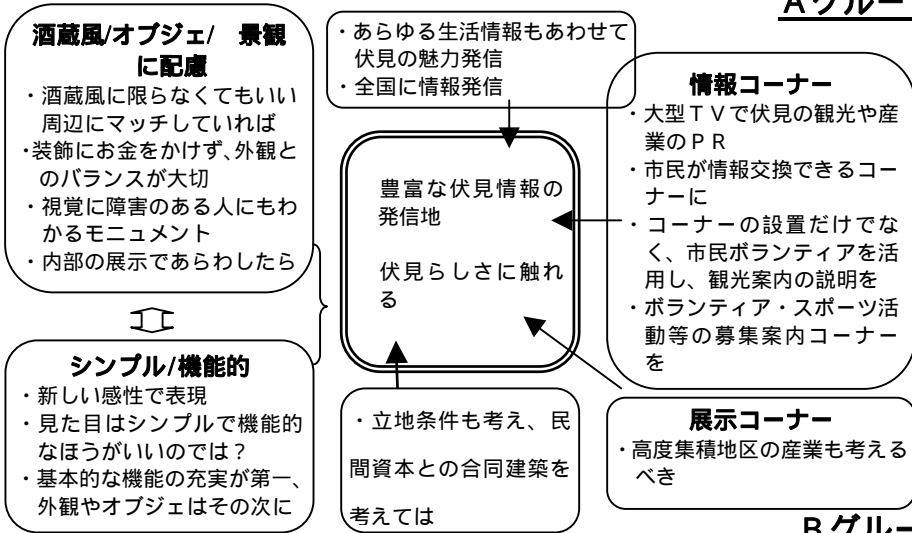
<具体的提案>

市民が自由に使えるオープンスペースの確保 市民・ボランティア活動をサポートする空間 市民活動の発信地	豊富な伏見情報の発信地 伏見らしさに触れる	ゆったりとした、人が集まる憩いの空間 イベントスペースやホールなど交流広場の設置 観光客への配慮	ソフト/ハード両面のバリアフリー 子育てをサポートする空間 利用しやすい工夫と行政サービス 障害者、高齢者の雇用創出	環境にやさしい設備の導入 緑化運動 周辺環境への配慮 駐車場・駐輪場について
--	--------------------------	--	---	---

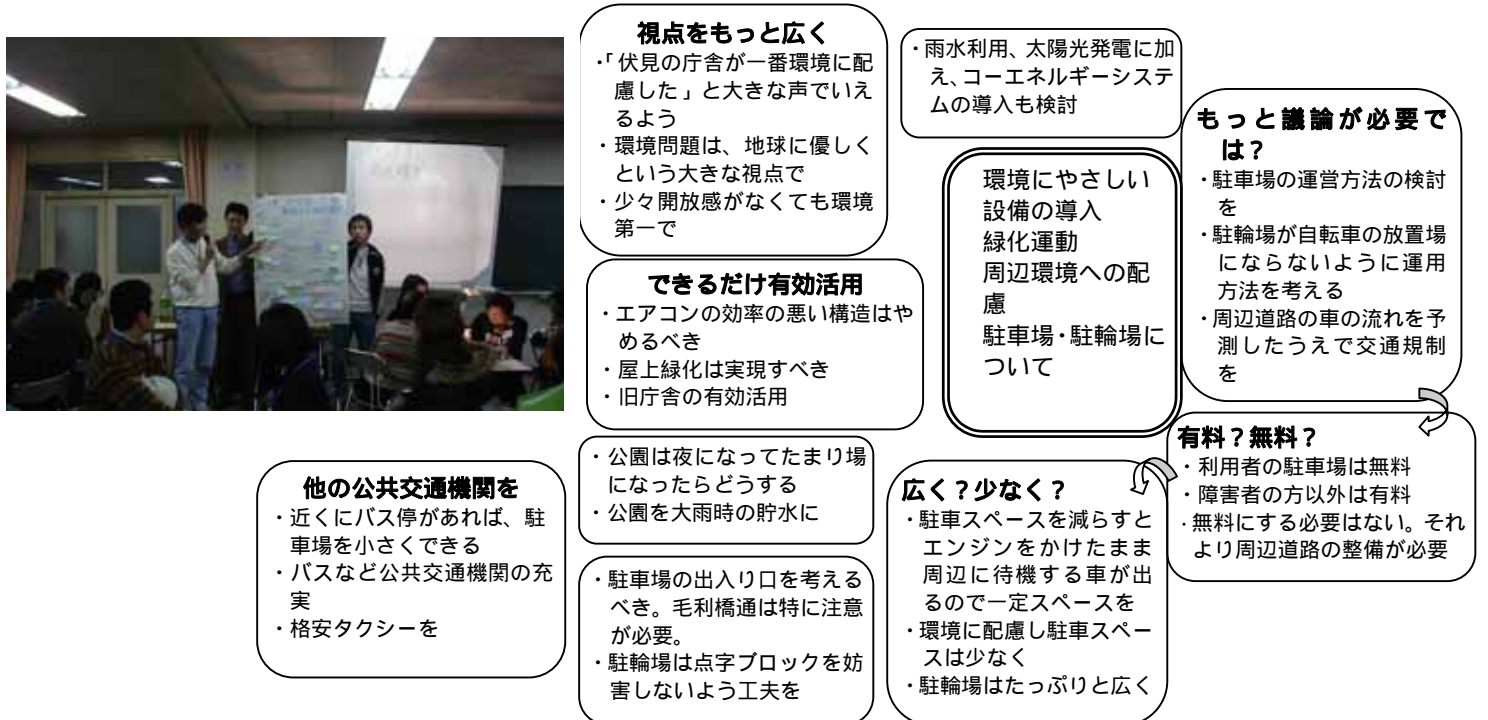


事務局の提案書(案) をチェックし、テーマごとに提案を行いました(グループディスカッション)

Aグループ：伏見区の活力を生み出す総合庁舎を



Bグループ：環境面に十分配慮した総合庁舎を



Cグループ：安心やさしさを感じられる総合庁舎を

保健所充実

福祉事務所は1Fへ
 ・福祉事務所、保健所など弱者(高齢者、障害者、子ども)利用の多い窓口は1階へ

点字サービス
 ・点字での手続き
 ・公文書の点字配布

庁舎以外に大切なこと
 ・区役所のための足の確保

・カフェの店員は社会復帰を目指している人にしてもらう

災害に負けない庁舎
 ・災害発生時の拠点として
 ・免震の建物で
 ・防災対策、難燃材使用
災害時も区民に役立つ庁舎

ユニバーサルデザインとして
 ・駅からのアクセスの整備を
 ・駐車場、建物に雨除けを
 ・濡れたくつで歩いてもすべらない床が必要
 ・広い部屋や講演会場に磁気ループの設置を

ボランティア
 ・案内所をボランティアで運営しては
 ・総合案内と観光案内の分離

ソフト/ハード両面のバリアフリー
 子育てをサポートする空間
 利用しやすい工夫と行政サービス
 障害者、高齢者の雇用創出

外国人向けサービス
 ・いろんな言葉を話せる人をおいてほしい
 ・外国人向けの言語で書いた案内書を

職員の動線も考えて



全館禁煙

・避難場所の広報が不十分
 ↓
 ・避難用の広いスペース

職員もかわってください
 ・庁舎も変わり、職員もよくなったといわれるようになってほしい
 ・建設後も不具合なところをチェックする体制の充実

出張所も忘れずに
 ・出張所の機能及び組織充実が必要
 ・出張所管内のバス路線の見直しが必要かも

・聴覚言語障害者対応の設備
 ・公共交通の時刻表等の情報
 ・難聴者にもわかる電光掲示
 ・介助者が一緒に入れるエレベーター・トイレ

Dグループ：私たちの活動を支援する場としての総合庁舎を



考え
 ・300人程度集まれる多目的ホール
 ・障害者の方も活動できる場所
 ・使いわけできる広いホール
 ・各種団体のフリースペース(会議室)・スモールオフィス(公募)
 ・ユニバーサルデザイン
 ・パソコン利用可能なスペースの場合、セキュリティは大丈夫、民業圧迫にはならない?
 ・将来を考え、レイアウト変更しやすいスペースを

・伏見区全体を対象とした機能を持たす
 市民が自由に使えるオープンスペースの確保
 市民・ボランティア活動をサポートする空間
 市民活動の発信地

常設展示コーナー
 ・学生の発表の場は青少年活動センターで
 ・常設展示はいいが、内容をどうするか
 ・障害者も使える会議室、料理教室、多目的な運動室
 ・障害者の拠点としての室
 ・いつでも使えるスペースの確保とその手続きの簡素化

Eグループ：区民や観光客の集いや交流を生み出す総合庁舎を

オープンカフェは障害者や若者の就業体験となるものを。店員とお客さんとの交流の場
 ・軽食や喫茶店、オープンカフェはぜひほしい
 ・食堂を備えたら、自販機等が必要でない
 ・環境に配慮して自販機をなくすか極力少なくする方がいい
 ・服薬やミルクなどの水やお湯などの給湯システムを

酒処だけでなく幕末の新撰組、源義経等歴史面でも伏見のPRはできるのにそれが抜けている

ゆったりとした、人が集まる憩いの空間
 イベントスペースやホールなど交流広場の設置
 観光客への配慮

・一般観光客への配慮は不要、あくまでも伏見区民のための庁舎
 ・観光客が区役所を利用することはないだろうから、重要ではない
 ・区民のための区役所を忘れるな

・伏見の歴史を学べる場がほしい。
 ・京都検定を受けた人が説明するインフォメーションセンター



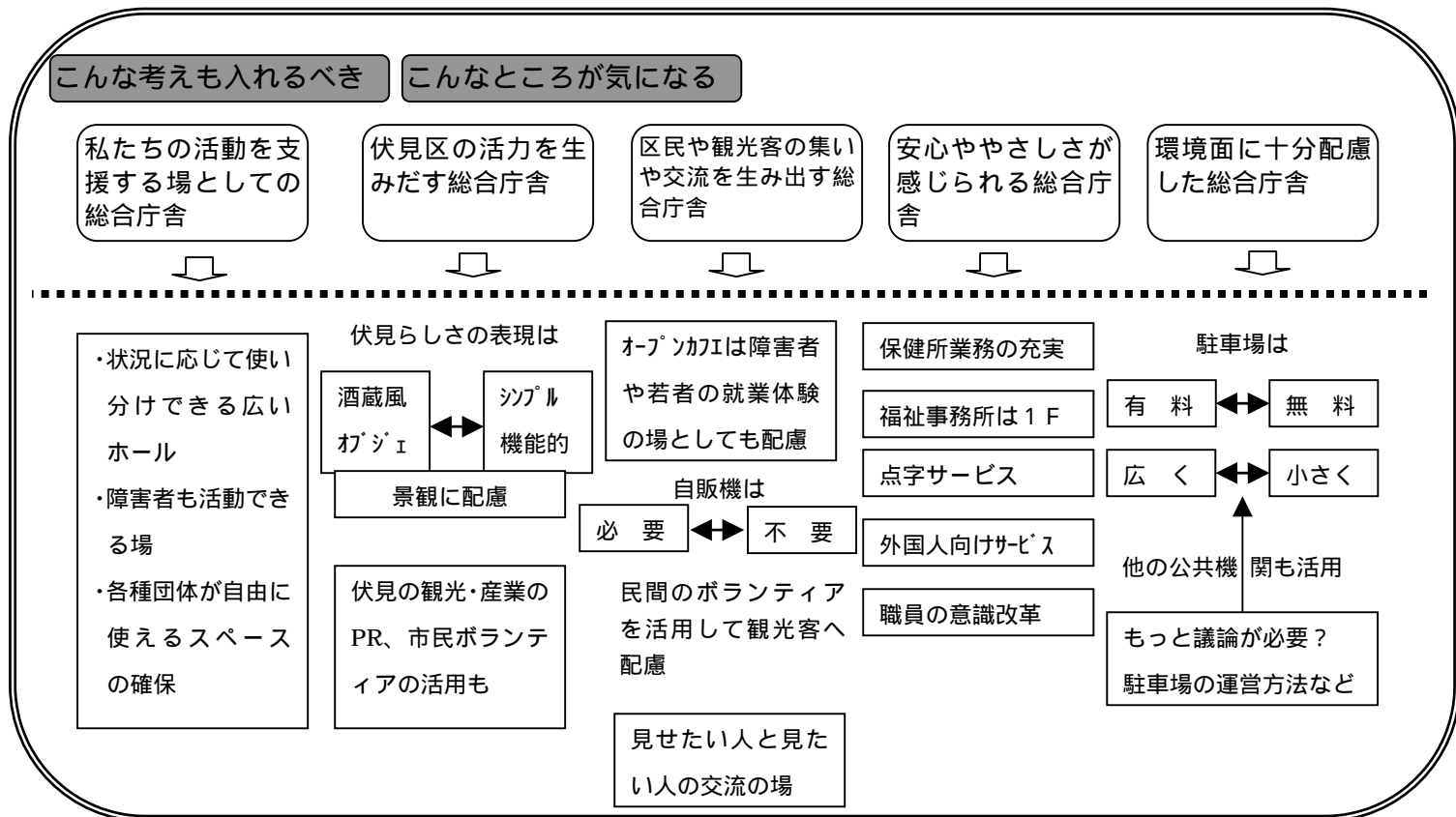
自販機については必要か不要か対立意見あり
 ・若者だけでなくいろんな人が集まれる場所に
 ・若者の居場所は青少年活動センターで十分、若者がたまりすぎると使いづらくなる

・どうやって広告を出し、どのような方法で、今より人を集めるのか
区民の発表の場をつくる
 とともに区内各地での発表などの情報をえられるようにする。見せたい人と見たい人との交流の場

・図書館との一体的な整備は無理
 ・スポーツ活動が考慮されていない

区役所の業務はあくまでも区民のためのものであるべき。ただし、民間のボランティアの活力を生かして観光客にもやさしい機能も持たせる。
 ・駐輪場を無料に

ワークショップのとりまとめ「提案書をつくろう！」



第4回ワークショップのご意見・ご感想

新しい庁舎が建つまでに、みんなでこれからも話し合い、よりよい新総合庁舎になってほしい。話し合いは今回で終わりということですが、設計図案ができた時にも意見交換ができればと思います。とても盛り上がってよかったと思います。お世話してくださった皆様ありがとうございました。よりよいものができあがることを期待しています。

ワークショップの終了にあたって

京都市では、伏見区内で分散立地している区役所、福祉事務所、保健所を統合し、伏見青少年活動センターを併設した総合庁舎の平成 20 年度の開設を目指し、庁舎整備の最も基本となる計画である「整備基本計画」の策定作業を進めており、整備基本計画は平成 17 年 3 月に策定する予定です。

これまで誰にでも親しみやすく、利用しやすい、地域活動活性化の拠点となる総合庁舎とするため、来庁者アンケート、伏見区ホームページ (<http://www.city.kyoto.jp/fushimi/>) でのアンケート、ワークショップにより市民意見の集約に努めてきました。特にワークショップは、市民の皆さんと行政が協働作業により意見を出し合う場として実施してきました。

本ワークショップでは、伏見区の新総合庁舎のあり方について、4 回にわたって市民の皆さんの熱心なディスカッションにより、数多くの有意義なご意見や提案が出されました。それらご意見は「私たちが考える望ましい伏見区総合庁舎提案書」として取りまとめられ、来庁者アンケートやホームページへのご意見とともに「伏見区総合庁舎整備基本計画」に生かしていく考えです。

総合庁舎の完成までにはまだまだ時間がかかります。これからも引き続き、市民の皆さんのご意見をお聞きしながら、また、いただいたご意見はしっかりと受け止め、平成 20 年度の開設に向け、事業を進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともご協力のほど、よろしくお願い致します。